

多汗症・わきがの治療法

多汗症の治療法

① エクロックゲル 5%[®] (保険適応)

2020 年秋に承認された、保険で処方できる日本初の「わき汗」の治療薬です。

わき汗は、エクリン汗腺において、交感神経から出るアセチルコリンが汗腺を刺激することで多量の汗が分泌されます。

エクロックゲルは、このアセチルコリンによる刺激をブロックして過剰に出る汗を止めます。

1日1回、容器に付属するアプリケーターを用いてわきに塗ります。決して手にとって塗らないようにしましょう (薬液がついた手で目を触ると緑内障が発現することがあります)。



② BOTOX 注射 (自費 ¥39,000 ~)

ボツリヌス菌毒素が、交感神経の末端で発汗を促進させているアセチルコリンという伝達物資を抑制し、汗を出にくくします。

麻酔クリームを塗って片わき 50カ所ほど注射をします。効果の持続は約半年です。



③ INFINI HYBRID (高周波治療) (自費 ¥37,000/回)

高周波で汗腺を変性させます。症状によりますが、2、3か月ごとに、2～6回施術をします。数年間効果が持続します。

④ プロバンサインの内服 (保険適応)

大事な場面で汗をかきたくない！という日に内服します。

汗を止めたい 30分～1時間前 (できれば空腹時) に 1～2錠内服すると、3～4時間全身の発汗を抑制できます。

緑内障、前立腺肥大、心疾患のある方は内服できません。

のどの渇き、顔のほてり、頭痛、便秘といった副作用があるので長期内服はお勧めしません。

夏は熱中症になる可能性があるため、十分水分を摂取してください。

上記①～④は多汗症の治療です。

発汗量を減らすと臭いも減る傾向にあるので、わきがにも効果が期待できます。



※手のひらの多汗症には、塩化アルミニウム液をご用意しております。

保険適応のない薬剤にて、診察料は全て自費となります。

(診察料¥1,200+処方箋料¥700

薬液は診療ビル 1F のアルカ薬局にて、¥500 / 100ml でお渡しします)

《使い方》

寝る直前に塩化アルミニウム液を手に取り、両手にパンパンとたたきつけます。

その後、扇風機やドライヤーの冷風で乾かします。

これを3回繰り返し、できるだけ手をパーの状態に開いて寝てください。

効果を感じたらいったん使用を中止します。

そのまま使用を続けると効果がでにくくなります。

わきがの治療法

① 女子なら脱毛レーザーも試す価値あり (自費¥9,500/回)

毛穴に溜まった汗を常在菌が分解することにより臭いが発生します。

脱毛レーザーで毛をなくすことで毛穴が退化すると、

汗が毛穴に溜まらなくなるため、臭いも減ります。

② アポクリン腺を切除する手術 (保険適応 3割負担で約¥42,000)

日帰り手術ですが、片わきにつき約1時間半かかります。

術後は、丸めたガーゼをわきに縫い付けた状態で、

約1週間過ごさなくてはなりません。

その間は、ひじから先しか動かすことができず、

入浴も腰から下のみになりますので、かなりの覚悟と準備が必要です。

また、片わきにつき、5～6cm長さの傷痕が2本づつ残ります。



予約はHPから、またはお電話でもお受けしております。

ホームページ <http://yanoclinic.jp>

予約専用フリーダイヤル 0800-200-4371